

足立区国土強靱化地域計画における 重点施策（事業）一覧

令和8年3月改定版

足立区国土強靱化地域計画において重点化する取組は、以下のとおりとする。

《リスクシナリオ》

1-1 大規模地震に伴う、建物等の複合的で大規模な倒壊による死傷者の発生

重点項目①

旧耐震基準の建築物は、大規模地震の際に倒壊等のおそれがあるため、建物の耐震性向上を促進していく。また、大地震時に倒壊のおそれのあるブロック塀等について、高さを低くする等の整備を促進し、通行人などへの安全性向上を図っていく。

重要業績指標	現状値	目標値
住宅の耐震化率	93.7% (R6 年度)	概ね 98% (R12 年度)

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
住環境整備事業〈住宅・建築物安全ストック形成事業〉 (住宅・建築物耐震化助成)	足立区全域	—	H18～未定	未定	区		—	—
住環境整備事業〈住宅・建築物安全ストック形成事業〉 (耐震化促進普及啓発事業)	足立区全域	—	H18～未定	未定	区		—	—

*単年度事業のため「事業期間」の終期および「総事業費」は未定

- 足立区基本計画の施策：⑩-1 災害に強い都市整備の推進
- 担当部課：都市建設部 建築防災課

重点項目②

公営住宅の老朽化が進んでおり、居住者および通行人などへの安全性向上のため、保全工事等を実施していく。

重要業績指標	現状値	目標値
足立区区営住宅等長寿命化計画（第1期）の履行率	80%（R6年度）	100%（R10年度）

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国5か年 対策関係	現在の進捗 (R6年度)	5年後の状況 (R11年度)
足立区区営住宅等長寿命化計画に基づく事業〈公営住宅等ストック総合改善事業〉	伊興町本町第2アパート屋上防水工事	2棟	R4	53	区		100%	100% (R4年度)
	伊興町本町第2アパート風呂釜改修工事	37箇所	R4	13	区		100%	100% (R4年度)
	伊興五丁目アパート屋上防水工事	4棟	R5～R6	50	区		100%	100% (R6年度)
	伊興町本町第2アパートEV改修工事	3棟	R8～R10	120	区		0%	100% (R10年度)
足立区区営住宅等長寿命化計画に基づく事業〈改良住宅ストック総合改善事業〉	関原一丁目コミュニティ住宅外壁改修工事	5棟	R4～R5	73	区		100%	100% (R5年度)

* 「総事業費」は、「事業期間」の概算事業費

- 足立区基本計画の施策：⑭-5 公有財産の活用と公共施設マネジメントの推進
- 担当部課：都市建設部 住宅課

重点項目③

学校施設の老朽化が進んでおり、発災時の子どもの安全や避難所としての防災機能強化の観点から、順次改築および保全工事等を実施していく。

重要業績指標	現状値	目標値
令和3年度～令和10年度の改築・全体保全工事予定校26校のうち改築・全体保全工事が完了した校数	7校（R6年度）	17校（R10年度）

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国5か年 対策関係	現在の進捗 (R6年度)	5年後の状況 (R11年度)
学校施設環境改善事業（区立小中学校の改築事業）	(小学校) 綾瀬、江北・高野統合校、鹿浜西・北鹿浜統合校、東湊江、宮城 (中学校) 千寿青葉、東綾瀬	7校	R3～R10	43,474	区		71%	100% (R10年度)
学校施設環境改善事業（区立小中学校の全体保全事業）	(小学校) 北三谷、栗島、弘道第一、舎人、西保木間、東加平、湊江第一、古千谷、六木、湊江、興本、西新井第二 (中学校) 花畑北、花保、六月、入谷、青井、伊興、花畑	19校	R3～R10	15,610	区	該当	37%	100% (R10年度)

* 「総事業費」は、「事業期間」の概算事業費

- 足立区基本計画の施策：①-4 安全・快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
- 担当部課：学校運営部 学校施設管理課

重点項目④

厚生労働省の地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用して、災害発生時に自力で避難することが困難な者が多く利用する高齢者施設において、建物の耐震化、ブロック塀等の改修及び施設の老朽化に伴う大規模改修を促進し、利用者の安全・安心を確保する。

重要業績指標	現状値	目標値
高齢者施設等の防災・減災対策実施数	4 箇所 (R6 年度)	6 箇所 (R8 年度)

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
高齢者施設等防災・減災対策推進事業	足立区全域 ※小規模施設等 (定員 29 人以下)	1 箇所	R7	8	区	該当	4 箇所	5 箇所 (R7 年度)
高齢者施設等の防災・減災対策推進事業 (※都事業)	足立区全域 ※大規模施設等 (定員 30 人以上)	—	R7	国から都道府県への直接補助であるため、区において予算計上なし	都	該当	—	— (R7 年度)

※ 定員 29 人以下の施設は区、30 人以上は都が実施主体となる

- 足立区基本計画の施策：⑧-1 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる、地域包括ケアシステムなどの体制の充実
- 担当部課：福祉部 介護保険課

重点項目⑤

私立保育園の園舎の倒壊や破損等のリスクを最小限にするため、建替えや大規模修繕等を促進する。

重要業績指標	現状値	目標値
民間保育施設の建替え・大規模修繕等実施件数	—	2件（R8年度）

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国5か年 対策関係	現在の進捗 (R6年度)	5年後の状況 (R11年度)
私立保育園施設整備助成事業	足立区内の私立認可保育園	—	R8	332	区	該当	—	2件 (R8年度)

*単年度事業のため「事業期間」の終期は未定

- 足立区基本計画の施策：②-2 多様なライフスタイルに応じた教育・保育サービス等の充実
- 担当部課：子ども家庭部 私立保育園課

重点項目⑥

木造住宅密集地域における老朽建築物の共同化・不燃化を推進し、地震時の建物倒壊リスクを低減する。あわせて、再開発に伴う壁面後退や公共施設の整備により、延焼遮断帯としての機能を強化し、火災の被害を最小限に抑制する。

重要業績指標	現状値	目標値
市街地再開発事業区域内における非耐火建築物 ^{※1} の除却率	0% (R6年度)	100% (R11年度)
市街地再開発事業区域内における空地整備の実施率	0% (R6年度)	0% ^{※2} (R11年度)

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国5か年 対策関係	現在の進捗 (R6年度)	5年後の状況 (R11年度)
北千住駅前地区市街地再開発事業	千住旭町41、43の一部	0.6ha	R8～R14	8,829	民間	非該当	0%	50% ^{※3} (R11年度)

※1 非耐火建築物は耐火建築物・準耐火建築物以外の建築物を指す。

※2 R14年度に100%達成予定。

※3 非耐火建築物の除却率および空地整備の実施率を反映して算定。

- 足立区基本計画の施策：⑫-1 良好な景観の形成と快適なまちづくりの推進
- 担当部課：都市建設部 まちづくり課

《リスクシナリオ》

1-2 地震に伴う住宅密集地等の大規模火災による死傷者の発生

重点項目①

火災の延焼防止と避難路の確保に向け、延焼遮断帯となる都市計画道路の整備を行う。

重要業績指標	現状値	目標値
区内の都市計画道路整備延長の割合（区内総延長 161km）	79%（R6 年度）	84%（R8 年度）

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
道路事業、無電柱化推進計 画事業、住環境整備事業	補助第 138 号線その 2 工区整備事業	L=280m W=16m	H10~R6	3,194	区		96%	100% (R7 年度)
	補助第 256 号線整備事 業	L=840m W=15m	H24~R15	8,580	区		38%	75%
	足立区画街路第 14 号 線（東武伊勢崎線竹ノ 塚駅付近）	6,051 m ²	H23~R6	4,138	区		100%	—
	補助第 138 号線（江北 地区）整備事業	L=390m W=16m	R1~R12	5,967	区		5%	88%
	補助第 138 号線（興野 地区）整備事業	L=940m W=16m	R1~R23	10,229	区		0%	15%
	区画街路第 9 号線整備 事業	5,460 m ²	R2~R12	8,407	区		2%	98%
	補助第 255 号線整備事 業	L=680m W=16m	H11~R23	12,235	区		0%	22%

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
道路事業、無電柱化推進計 画事業、住環境整備事業	区画街路第 15 号線整備 事業	2,100 m ²	R1~R6	1,611	区		90%	100% (R7 年度)
	区画街路第 7 号線整備 事業	L=390m W=17~18m	S60~R20	4,666	区		0%	8%
	補助第 253 号線整備事 業	L=260m W=15m	H20~R16	6,166	区		0%	30%
	区画街路第 8 号線整備 事業	L=230m W=17m	R8~R20	3,219	区		0%	6%
	補助第 137 号線整備事 業	L=100m W=15m	R5~R11	849	区		0%	0%
	補助第 254 号線整備事 業	L=800m W=16m	R7~R15	11,592	区		0%	6%

* 「数量」欄の「L」は延長、「W」は幅員を表す

* 「総事業費」はこれまでの実績額と今後の概算事業費の合計

- 足立区基本計画の施策：⑪-1 スムーズに移動できる交通環境の整備
- 担当部課：都市建設部 道路整備課

重点項目②

震災等の災害時に危険な密集市街地において密集市街地整備事業を導入し、道路の拡幅や公園等のオープンスペースの整備を行うとともに、老朽建築物の建替えを促進し、不燃領域率を上昇させ、防災性及び居住環境の向上を図る。

重要業績指標	現状値	目標値
密集市街地整備事業実施地区の平均不燃領域率	58.6% (R6 年度)	61.8% (R10 年度)

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
住環境整備事業（密集市街地整備事業）	西新井駅西口周辺地区	51.4ha	H11～R12	5,092	区		58.1%	62.1%
	千住西地区	60.8ha	R1～R10	4,864	区		60.2%	63.4% (R10 年度)
	柳原一・二丁目地区	28.4ha	R7～R16	7,168	区		55.9%	62.6%

* 「総事業費」はこれまでの実績額と今後の概算事業費の合計

- 足立区基本計画の施策：⑩-1 災害に強い都市整備の推進
- 担当部課：都市建設部 建築防災課

重点項目③

都市計画道路の整備にあわせて沿道建築物の不燃化率を向上させ、延焼遮断帯を形成することにより延焼火災を防止する。

重要業績指標	現状値	目標値
都市防災不燃化促進事業実施地区の平均不燃化率	57.6% (R6 年度)	60% (R15 年度)

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
市街地整備事業〈都市防災 推進事業〉(都市防災不燃化 促進事業)	補助第 136 号線扇・本 木地区	8.1ha	H17~R11	728	区		61.1%	60%以上
	補助第 138 号線西新井 駅西口その 1 工区地区	2.4ha	H18~R12	455	区		53.4%	59.1%
	補助第 138 号線西新井 駅西口その 2 工区地区	1.6ha	H26~R10	275	区		54.3%	60%
	補助第 138 号線興野・ 本木地区	1.9ha	H27~R11	218	区		53.0%	60%
	補助第 261 号線西竹の 塚地区	1.5ha	R2~R11	250	区		50.4%	60%
	補助第 261 号線伊興・ 西伊興地区	7.1ha	R6~R15	230	区		60.3%	60%以上
	補助第 109 号線神明・ 北加平地区	7.2ha	R6~R15	313	区		56.0%	60%以上
	補助第 138 号線江北地 区(予定)	2.1ha	R8~R17	156	区		0%	0%

* 「総事業費」は事業導入時に不燃化率 70%を達成するために算出した額

- 足立区基本計画の施策：⑩-1 災害に強い都市整備の推進
- 担当部課：都市建設部 建築防災課

重点項目④

震災時における避難路の確保や消防活動の円滑化のため、細街路に指定した路線の拡幅整備工事を行う。

重要業績指標	現状値	目標値
細街路整備距離（片側換算）	84.03km（R6年度）	87.23km（R8年度）

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 （年度）	総事業費 （百万円）	実施 主体	国5か年 対策関係	現在の進捗 （R6年度）	5年後の状況 （R11年度）
市街地整備事業（都市防災 推進事業）（細街路整備事 業）	細街路指定路線	222.89km	S60～未定	未定	区		37.7%	41.2%

*単年度事業のため「事業期間」の終期および「総事業費」は未定

- 足立区基本計画の施策：⑩-1 災害に強い都市整備の推進
- 担当部課：都市建設部 建築防災課

重点項目⑤

密集地域での密集事業を効果的に推進するために、狭あい道路の現況測量資料を整備し、狭あい道路の早期解消を支援する。

重要業績指標	現状値	目標値
指定道路調書作成のための道路現況測量延長	60.82km (R6 年度)	73.00km (R11 年度)

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
住環境整備事業〈狭あい道路の拡幅整備〉(指定道路調書作成)	足立区全域	73km	H22~R11 (予定)	未定	区		83%	100%

*単年度事業のため「総事業費」は未定

- 足立区基本計画の施策：⑩-1 災害に強い都市整備の推進
- 担当部課：都市建設部 建築防災課

重点項目⑥

厚生労働省の地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用して、災害発生時に自力で避難することが困難な者が多く利用する通所介護施設において、宿泊サービスを実施する際に設置義務が生じる場合のスプリンクラー整備を促進し、利用者の安全・安心を確保する。

重要業績指標	現状値	目標値
高齢者施設等の防災・減災対策実施数	4 箇所 (R6 年度)	6 箇所 (R8 年度)

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
高齢者施設等防災・減災対策推進事業	足立区全域 ※小規模施設等 (定員 29 人以下)	1 箇所	R7	8	区	該当	4 箇所	5 箇所 (R7 年度)
高齢者施設等の防災・減災対策推進事業 (※都事業)	足立区全域 ※大規模施設等 (定員 30 人以上)	—	R7	国から都道府県への直接補助であるため、区において予算計上なし	都	該当	—	— (R7 年度)

※ 定員 29 人以下の施設は区、30 人以上は都が実施主体となる

- 足立区基本計画の施策：⑧-1 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる、地域包括ケアシステムなどの体制の充実
- 担当部課：福祉部 介護保険課

＜リスクシナリオ＞

1-3 台風や異常気象など突発的又は広域的な洪水・高潮に伴う長期的な浸水による死傷者の発生

重点項目①

厚生労働省の地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用して、災害発生時に自力で避難することが困難な者が多く利用する高齢者施設において、水害発生時の避難手段の確保及び避難時間の短縮を図るために、水害対策にかかる施設整備を促進し、利用者の安全・安心を確保する。

重要業績指標	現状値	目標値
高齢者施設等の防災・減災対策実施数	4 箇所 (R6 年度)	6 箇所 (R8 年度)

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
高齢者施設等防災・減災対策推進事業	足立区全域 ※小規模施設等 (定員 29 人以下)	1 箇所	R7	8	区	該当	4 箇所	5 箇所 (R7 年度)
高齢者施設等の防災・減災対策推進事業 (※都事業)	足立区全域 ※大規模施設等 (定員 30 人以上)	—	R7	国から都道府県への直接補助であるため、区において予算計上なし	都	該当	—	— (R7 年度)

※ 定員 29 人以下の施設は区、30 人以上は都が実施主体となる

- 足立区基本計画の施策：⑧-1 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる、地域包括ケアシステムなどの体制の充実
- 担当部課：福祉部 介護保険課

《リスクシナリオ》

2-2 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、エネルギー供給の途絶等による医療機能の麻痺

重点項目①

都市計画道路の整備にあわせて沿道建築物の不燃化率を向上させ、延焼遮断帯を形成することにより延焼火災を防止する。

重要業績指標	現状値	目標値
都市防災不燃化促進事業実施地区の平均不燃化率	57.6% (R6 年度)	60% (R15 年度)

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
市街地整備事業〈都市防災 推進事業〉(都市防災不燃化 促進事業)	補助第 136 号線扇・本 木地区	8.1ha	H17~R11	728	区		61.1%	60%以上
	補助第 138 号線西新井 駅西口その 1 工区地区	2.4ha	H18~R12	455	区		53.4%	59.1%
	補助第 138 号線西新井 駅西口その 2 工区地区	1.6ha	H26~R10	275	区		54.3%	60% (R10 年度)
	補助第 138 号線興野・ 本木地区	1.9ha	H27~R11	218	区		53.0%	60%
	補助第 261 号線西竹の 塚地区	1.5ha	R2~R11	250	区		50.4%	60%
	補助第 261 号線伊興・ 西伊興地区	7.1ha	R6~R15	230	区		60.3%	60%以上
	補助第 109 号線神明・ 北加平地区	7.2ha	R6~R15	313	区		56.0%	60%以上
	補助第 138 号線江北地 区(予定)	2.1ha	R8~R17	156	区		0%	0%

* 「総事業費」は事業導入時に不燃化率 70%を達成するために算出した額

- 足立区基本計画の施策：⑩-1 災害に強い都市整備の推進
- 担当部課：都市建設部 建築防災課

重点項目②

発災時に緊急輸送道路となる都市計画道路は、建物倒壊による道路閉塞を防止するため、対象となる沿道建物の耐震化を促進していく。

重要業績指標	現状値	目標値
特定緊急輸送道路沿道の総合到達率(※1)及び区間到達率(※2)	・ 総合到達率 98.1% ・ 区間到達率 728 区間で 95%未満 (R6 年度 ※3)	総合到達率 100% (R17 年度)

※1 特定緊急輸送道路全体の通行機能を評価する指標であり、区間到達率を道路全体で加重平均し、算出したもので表される。

※2 特定緊急輸送道路における一定区間ごとの通行機能を評価する指標。

※3 現状値は、令和3年度版「足立区耐震改修促進計画」による数値。

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国5か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5年後の状況 (R11 年度)
住宅・建築物防災力緊急促進事業、緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業(特定緊急輸送道路沿道建築物耐震助成、一般緊急輸送道路沿道建築物耐震助成)	区内指定路線沿道	—	H23～未定	未定	区		—	—

*単年度事業のため「事業期間」の終期および「総事業費」は未定

- 足立区基本計画の施策：⑩-1 災害に強い都市整備の推進
- 担当部課：都市建設部 建築防災課

重点項目③

発災時に緊急輸送道路となる都市計画道路の整備を行う。

重要業績指標	現状値	目標値
区内の都市計画道路整備延長の割合（区内総延長 161km）	79%（R6 年度）	84%（R8 年度）

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
道路事業、無電柱化推進計 画事業、住環境整備事業	補助第 138 号線その 2 工区整備事業	L=280m W=16m	H10～R6	3,194	区		96%	100% (R7 年度)
	補助第 256 号線整備事 業	L=840m W=15m	H24～R15	8,580	区		38%	75%
	足立区画街路第 14 号 線（東武伊勢崎線竹ノ 塚駅付近）	6,051 m ²	H23～R6	4,138	区		100%	
	補助第 138 号線（江北 地区）整備事業	L=390m W=16m	R1～R12	5,967	区		5%	88%
	補助第 138 号線（興野 地区）整備事業	L=940m W=16m	R1～R23	10,229	区		0%	15%
	区画街路第 9 号線整備 事業	5,460 m ²	R2～R12	8,407	区		2%	98%
	補助第 255 号線整備事 業	L=680m W=16m	H11～R23	12,235	区		0%	22%
	区画街路第 15 号線整 備事業	2,100 m ²	R1～R6	1,611	区		90%	100% (R7 年度)
	区画街路第 7 号線整備 事業	L=390m W=17～18m	S60～R20	4,487	区		0%	8%
	補助第 253 号線整備事 業	L=260m W=15m	H20～R16	5,270	区		0%	30%

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
道路事業、無電柱化推進計 画事業、住環境整備事業	区画街路第 8 号線整備 事業	L=230m W=17m	R8~R20	3,576	区		0%	6%
	補助第 137 号線整備事 業	L=100m W=15m	R5~R11	1,015	区		0%	0%
	補助第 254 号線整備事 業	L=800m W=16m	R7~R15	12,240	区		0%	6%

* 「数量」欄の「L」は延長、「W」は幅員を表す

* 「総事業費」はこれまでの実績額と今後の概算事業費の合計

- 足立区基本計画の施策：⑪-1 スムーズに移動できる交通環境の整備
- 担当部課：都市建設部 道路整備課

《リスクシナリオ》

2-3 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理がもたらす、被災者の健康・心理状態の悪化による死者の発生

重点項目①

学校施設の老朽化が進んでおり、発災時の子どもの安全や避難所としての防災機能強化の観点から、順次改築および保全工事等を実施していく。

重要業績指標	現状値	目標値
令和3年度～令和10年度の改築・全体保全工事予定校26校のうち改築・全体保全工事が完了した校数	7校（R6年度）	17校（R10年度）

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国5か年 対策関係	現在の進捗 (R6年度)	5年後の状況 (R11年度)
学校施設環境改善事業（区立小中学校の改築事業）	(小学校) 綾瀬、江北・高野統合校、鹿浜西・北鹿浜統合校、東淵江、宮城 (中学校) 千寿青葉、東綾瀬	7校	R3～R10	43,474	区		71%	100% (R10年度)
学校施設環境改善事業（区立小中学校の全体保全事業）	(小学校) 北三谷、栗島、弘道第一、舎人、西保木間、東加平、淵江第一、古千谷、六木、淵江、興本、西新井第二 (中学校) 花畑北、花保、六月、入谷、青井、伊興、花畑	19校	R3～R10	15,610	区	該当	37%	100% (R10年度)

* 「総事業費」は、「事業期間」の概算事業費

- 足立区基本計画の施策：①-4 安全・快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
- 担当部課：学校運営部 学校施設管理課

《リスクシナリオ》

2-4 食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止

重点項目①

災害時における緊急支援物資輸送の維持や早期復旧のため、都市計画道路整備時に無電柱化を行う。

重要業績指標	現状値	目標値
足立区道の緊急輸送道路における整備着手及び完了延長	2.04 km (R6 年度)	4.44 km (R17 年度)

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
道路事業、無電柱化推進計 画事業、住環境整備事業	補助第 138 号線その 2 工区整備事業	L=280m W=16m	H10~R7	3,194	区		96%	100% (R7 年度)
	補助第 256 号線整備事 業	L=840m W=15m	H24~R15	8,580	区		38%	70%
	足立区画街路第 14 号 線（東武伊勢崎線竹ノ 塚駅付近）	6,051 m ²	H23~R6	4,138	区		100%	
	補助第 138 号線（江北 地区）整備事業	L=390m W=16m	R1~R12	5,967	区		5%	88%
	補助第 138 号線（興野 地区）整備事業	L=940m W=16m	R1~R23	10,229	区		0%	11%
	区画街路第 9 号線整備 事業	5,460 m ²	R2~R12	8,407	区		2%	97%
	補助第 255 号線整備事 業	L=680m W=16m	H11~R23	12,235	区		0%	22%
区画街路第 15 号線整 備事業	2,100 m ²	R1~R7	1,611	区		90%	100% (R7 年度)	

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
道路事業、無電柱化推進計画事業、住環境整備事業	区画街路第 7 号線整備事業	L=390m W=17~18m	S60~R20	4,487	区		0%	8%
	補助第 253 号線整備事業	L=260m W=15m	H20~R16	5,270	区		0%	30%
	補助第 137 号線整備事業	L=100m W=15m	R5~R11	1,015	区		0%	0%
無電柱化推進計画事業 (東京女子医大通り)	江北四丁目 15 番～ 江北五丁目 18 番先	L=1580m W=15～ 27m	H29~R16	950	区		63%	83%
無電柱化推進計画事業 (江北アクセス道路)	江北四丁目 6 番～ 江北四丁目 30 番先	L=226m W=8～ 17.5m	R1~R14	259	区		35%	70%
無電柱化推進計画事業 (五反野駅前通り)	足立一丁目 18 番～ 弘道一丁目 30 番先	L=840m W=7.2～ 9.4m	H29~R20	2,000	区		27%	33%
無電柱化推進計画事業 (千住一丁目地区)	千住一丁目 30 番先	L=180m W=4.5～ 8m	H29~R7	350	区		90%	100% (R7 年度)

* 「数量」欄の「L」は延長、「W」は幅員を表す

* 「総事業費」はこれまでの実績額と今後の概算事業費の合計

- 足立区基本計画の施策：⑪-2 安全に利用できる道路環境の整備
- 担当部課：都市建設部 都市建設課・道路整備課

《リスクシナリオ》

2-5 想定を超える大量の帰宅困難者の発生と混乱

重点項目①

震災時に、ターミナル駅周辺で発生する大量の帰宅困難者による混乱及び事故等を防止するため、対策を強化し地域防災力の向上を図る。

重要業績指標	現状値	目標値
駅前滞留者・帰宅困難者等対策訓練回数（年間）	1回（R6年度）	2回（毎年度）

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 （年度）	総事業費 （百万円）	実施 主体	国5か年 対策関係	現在の進捗 （R6年度）	5年後の状況 （R11年度）
都市安全確保促進事業（駅前滞留者・帰宅困難者等対策訓練および協議会運営補助）	北千住駅	—	H19～未定	未定	区		—	—
	綾瀬駅	—	H27～未定	未定	区		—	—

*単年度事業のため「事業期間」の終期および「総事業費」は未定

- 足立区基本計画の施策：⑩-3 災害に備えた地域防災力の強化
- 担当部課：危機管理部 災害対策課

《リスクシナリオ》

3-2 区職員・施設等の被災による行政機能の大幅な低下

重点項目①

学校施設の老朽化が進んでおり、発災時の子どもの安全や避難所としての防災機能強化の観点から、順次改築および保全工事等を実施していく。

重要業績指標	現状値	目標値
令和3年度～令和10年度の改築・全体保全工事予定校26校のうち改築・全体保全工事が完了した校数	7校（R6年度）	17校（R10年度）

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国5か年 対策関係	現在の進捗 (R6年度)	5年後の状況 (R11年度)
学校施設環境改善事業（区立小中学校の改築事業）	(小学校) 綾瀬、江北・高野統合校、鹿浜西・北鹿浜統合校、東湊江、宮城 (中学校) 千寿青葉、東綾瀬	7校	R3～R10	43,474	区		71%	100% (R10年度)
学校施設環境改善事業（区立小中学校の全体保全事業）	(小学校) 北三谷、栗島、弘道第一、舎人、西保木間、東加平、湊江第一、古千谷、六木、湊江、興本、西新井第二 (中学校) 花畑北、花保、六月、入谷、青井、伊興、花畑	19校	R3～R10	15,610	区	該当	37%	100% (R10年度)

* 「総事業費」は、「事業期間」の概算事業費

- 足立区基本計画の施策：①-4 安全・快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
- 担当部課：学校運営部 学校施設管理課

＜リスクシナリオ＞

4-1 経済活動（サプライチェーンを含む）への甚大な影響の発生

重点項目①

都市計画道路の整備にあわせて沿道建築物の不燃化率を向上させ、延焼遮断帯を形成することにより延焼火災を防止する。

重要業績指標	現状値	目標値
都市防災不燃化促進事業実施地区の平均不燃化率	57.6% (R6 年度)	60% (R15 年度)

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
市街地整備事業（都市防災 推進事業）（都市防災不燃化 促進事業）	補助第 136 号線扇・本 木地区	8.1ha	H17～R11	728	区		61.1%	60%以上
	補助第 138 号線西新井 駅西口その 1 工区地区	2.4ha	H18～R12	455	区		53.4%	59.1%
	補助第 138 号線西新井 駅西口その 2 工区地区	1.6ha	H26～R10	275	区		54.3%	60% (R10 年度)
	補助第 138 号線興野・ 本木地区	1.9ha	H27～R11	218	区		53.0%	60%
	補助第 261 号線西竹の 塚地区	1.5ha	R2～R11	250	区		50.4%	60%
	補助第 261 号線伊興・ 西伊興地区	7.1ha	R6～R15	230	区		60.3%	60%以上
	補助第 109 号線神明・ 北加平地区	7.2ha	R6～R15	313	区		56.0%	60%以上
	補助第 138 号線江北地 区（予定）	2.1ha	R8～R17	156	区		0%	0%

* 「総事業費」は事業導入時に不燃化率 70%を達成するために算出した額

- 足立区基本計画の施策：⑩-1 災害に強い都市整備の推進
- 担当部課：都市建設部 建築防災課

重点項目②

発災時に緊急輸送道路となる都市計画道路は、建物倒壊による道路閉塞を防止するため、対象となる沿道建物の耐震化を促進していく。

重要業績指標	現状値	目標値
特定緊急輸送道路沿道の総合到達率(※1) 及び区間到達率(※2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合到達率 98.1% ・ 区間到達率 728 区間で 95%未満 (R6 年度 ※3) 	総合到達率 100% (R17 年度)

(※1) 特定緊急輸送道路全体の通行機能を評価する指標であり、区間到達率を道路全体で加重平均し、算出したもので表される。

(※2) 特定緊急輸送道路における一定区間ごとの通行機能を評価する指標。

(※3) 現状値は、令和3年度版「足立区耐震改修促進計画」による数値。

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施主体	国5か年対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5年後の状況 (R11 年度)
住宅・建築物防災力緊急促進事業、緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業(特定緊急輸送道路沿道建築物耐震助成、一般緊急輸送道路沿道建築物耐震助成)	区内指定路線沿道	—	H23～未定	未定	区		—	—

*単年度事業のため「事業期間」の終期および「総事業費」は未定

- 足立区基本計画の施策：⑩-1 災害に強い都市整備の推進
- 担当部課：都市建設部 建築防災課

重点項目③

発災時に重要な物流ルートとなる都市計画道路の整備を推進する。

重要業績指標	現状値	目標値
区内の都市計画道路整備延長の割合（区内総延長 161km）	79%（R6 年度）	83%（R8 年度）

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
道路事業、無電柱化推進計 画事業、住環境整備事業	補助第 138 号線その 2 工区整備事業	L=280m W=16m	H10~R7	3,194	区		90%	100% (R7 年度)
	補助第 256 号線整備事 業	L=840m W=15m	H24~R15	8,580	区		38%	70%
	足立区画街路第 14 号 線（東武伊勢崎線竹ノ 塚駅付近）	6,051 m ²	H23~R6	4,138	区		100%	
	補助第 138 号線（江北 地区）整備事業	L=390m W=16m	R1~R12	5,967	区		5%	88%
	補助第 138 号線（興野 地区）整備事業	L=940m W=16m	R1~R23	10,229	区		0%	11%
	区画街路第 9 号線整備 事業	5,460 m ²	R2~R12	8,407	区		2%	97%
	補助第 255 号線整備事 業	L=680m W=16m	H11~R23	12,235	区		0%	22%
	区画街路第 15 号線整 備事業	2,100 m ²	R1~R7	1,611	区		90%	100% (R7 年度)
	区画街路第 7 号線整備 事業	L=390m W=17~18m	S60~R20	4,487	区		0%	8%
	補助第 253 号線整備事 業	L=260m W=15m	H20~R16	5,270	区		0%	30%

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
道路事業、無電柱化推進計 画事業、住環境整備事業	区画街路第 8 号線整備 事業	L=230m W=17m	R8~R20	3,576	区		0%	6%
	補助第 137 号線整備事 業	L=100m W=15m	R5~R11	1,015	区		0%	0%
	補助第 254 号線整備事 業	L=800m W=16m	R7~R15	12,240	区		0%	6%

* 「数量」欄の「L」は延長、「W」は幅員を表す

* 「総事業費」はこれまでの実績額と今後の概算事業費の合計

- 足立区基本計画の施策：⑪-1 スムーズに移動できる交通環境の整備
- 担当部課：都市建設部 道路整備課

重点項目④

発災時に交通や輸送の寸断を防ぎ、物流ルートを確保するため、橋梁の架け替えや橋梁の点検及び補修を進める。

重要業績指標	現状値	目標値
橋梁の架け替え件数	1 件 (R6 年度)	15 件 (R33 年度)

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
道路事業、道路更新防災対 策事業	富士見歩道橋	L=30m	R3~R9	1,040	区		5%	100% (R10 年度)
	月見橋	車道橋 L=16m 歩道橋 L=21m	R3~R14	388	区		0%	0%

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
道路事業、道路更新防災対策事業	五兵衛橋	L=56m	R1～R8	1,173	区		15%	100% (R8 年度)
	伊藤谷橋	L=37m	R3～R11	513	区		0%	0%
	一本橋	L=9m	H30～R6	519	区		100%	
	堀切駅跨線人道橋	L=12m	R1～R11	649	区		2%	80%
	堀切2号橋	L=25m	R3～R10	649	区		5%	40%
	みどり歩道橋	L=75m	R16～R23	554	区		0%	0%
	西新井駅竹ノ塚駅間跨線人道橋	L=22m	R4～R14	431	区		0%	8%
	栗六陸橋	L=165m	R5～R24	4,875	区		0%	4%
	千代田線車庫入口歩道橋	L=25m	R14～R21	417	区		0%	0%
	新砂子路橋	L=16m	R16～R26	399	区		0%	0%
	ふれあい橋	L=35m	R21～R28	207	区		0%	0%
	せせらぎ歩道橋	L=21m	R23～R28	337	区		0%	0%
平成泉橋	L=24m	R24～R33	334	区		0%	0%	

* 「数量」欄の「L」は延長を表す

* 「総事業費」はこれまでの実績額と今後の概算事業費の合計

- 足立区基本計画の施策：⑪-2 安全に利用できる道路環境の整備
- 担当部課：都市建設部 道路整備課

《リスクシナリオ》

4-2 有害物質の大規模拡散・流出

重点項目①

助成制度等を通じて区内建築物所有者によるアスベストの調査、除去等を推進し、発災時における飛散リスクを低減する。

重要業績指標	現状値	目標値
延べ床面積 1,000 m ² 以上の民間建築物において吹付アスベストの飛散防止対策に関する調査報告が必要な建築物の数(※)	2 棟 (R6 年度)	0 棟 (R8 年度)

(※) 平成 29 年 2 月時点で足立区内に 91 棟存在。「調査報告」とは、建築物の所有者がアスベストの有無について調査を行い、区に報告すること。

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
住環境整備事業<住宅・建築物安全ストック形成事業>(吹付アスベスト対策費助成)	足立区全域	—	R3~R7 (国の助成期間を予定)	未定	区		—	— (R7 年度)

*単年度事業のため「総事業費」は未定

- 足立区基本計画の施策：⑤-2 良好な生活環境づくりの推進
⑩-1 災害に強い都市整備の推進
- 担当部課：環境部 生活環境保全課
都市建設部 建築審査課

《リスクシナリオ》

5-1 情報通信の麻痺・長期停止等による必要な情報の途絶

重点項目①

災害時における緊急支援物資輸送の維持や早期復旧のため、都市計画道路整備時に無電柱化を行う。

重要業績指標	現状値	目標値
足立区道の緊急輸送道路における整備着手及び完了延長	2.04 km (R6 年度)	4.44 km (R17 年度)

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
道路事業、無電柱化推進計 画事業、住環境整備事業	補助第 138 号線その 2 工区整備事業	L=280m W=16m	H10~R7	3,194	区		96%	100% (R7 年度)
	補助第 256 号線整備事 業	L=840m W=15m	H24~R15	8,580	区		38%	70%
	足立区画街路第 14 号 線（東武伊勢崎線竹ノ 塚駅付近）	6,051 m ²	H23~R6	4,138	区		100%	
	補助第 138 号線（江北 地区）整備事業	L=390m W=16m	R1~R12	5,967	区		5%	88%
	補助第 138 号線（興野 地区）整備事業	L=940m W=16m	R1~R23	10,229	区		0%	11%
	区画街路第 9 号線整備 事業	5,460 m ²	R2~R12	8,407	区		2%	97%
	補助第 255 号線整備事 業	L=680m W=16m	H11~R23	12,235	区		0%	22%
	区画街路第 15 号線整 備事業	2,100 m ²	R1~R7	1,611	区		90%	100% (R7 年度)

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
道路事業、無電柱化推進計画事業、住環境整備事業	区画街路第 7 号線整備事業	L=390m W=17~18m	S60~R20	4,487	区		0%	8%
	補助第 253 号線整備事業	L=260m W=15m	H20~R16	5,270	区		0%	30%
	補助第 137 号線整備事業	L=100m W=15m	R5~R11	1,015	区		0%	0%
無電柱化推進計画事業 (東京女子医大通り)	江北四丁目 15 番～ 江北五丁目 18 番先	L=1580m W=15～ 27m	H29~R16	950	区		63%	83%
無電柱化推進計画事業 (江北アクセス道路)	江北四丁目 6 番～ 江北四丁目 30 番先	L=226m W=8～ 17.5m	R1~R14	259	区		35%	70%
無電柱化推進計画事業 (五反野駅前通り)	足立一丁目 18 番～ 弘道一丁目 30 番先	L=840m W=7.2～ 9.4m	H29~R20	2,000	区		27%	33%
無電柱化推進計画事業 (千住一丁目地区)	千住一丁目 30 番先	L=180m W=4.5～ 8m	H29~R7	350	区		90%	100% (R7 年度)

* 「数量」欄の「L」は延長、「W」は幅員を表す

* 「総事業費」はこれまでの実績額と今後の概算事業費の合計

- 足立区基本計画の施策：①-2 安全に利用できる道路環境の整備
- 担当部課：都市建設部 都市建設課・道路整備課

《リスクシナリオ》

5-2 電気、ガス、上下水道等の長期間にわたる供給・機能停止

重点項目①

災害時における緊急支援物資輸送の維持や早期復旧のため、都市計画道路整備時に無電柱化を行う。

重要業績指標	現状値	目標値
足立区道の緊急輸送道路における整備着手及び完了延長	2.04 km (R6 年度)	4.44 km (R17 年度)

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
道路事業、無電柱化推進計 画事業、住環境整備事業	補助第 138 号線その 2 工区整備事業	L=280m W=16m	H10~R7	3,194	区		96%	100% (R7 年度)
	補助第 256 号線整備事 業	L=840m W=15m	H24~R15	8,580	区		38%	70%
	足立区画街路第 14 号 線（東武伊勢崎線竹ノ 塚駅付近）	6,051 m ²	H23~R6	4,138	区		100%	
	補助第 138 号線（江北 地区）整備事業	L=390m W=16m	R1~R12	5,967	区		5%	88%
	補助第 138 号線（興野 地区）整備事業	L=940m W=16m	R1~R23	10,229	区		0%	11%
	区画街路第 9 号線整備 事業	5,460 m ²	R2~R12	8,407	区		2%	97%
	補助第 255 号線整備事 業	L=680m W=16m	H11~R23	12,235	区		0%	22%
区画街路第 15 号線整 備事業	2,100 m ²	R1~R7	1,611	区		90%	100% (R7 年度)	

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
道路事業、無電柱化推進計画事業、住環境整備事業	区画街路第 7 号線整備事業	L=390m W=17~18m	S60~R20	4,487	区		0%	8%
	補助第 253 号線整備事業	L=260m W=15m	H20~R16	5,270	区		0%	30%
	補助第 137 号線整備事業	L=100m W=15m	R5~R11	1,015	区		0%	0%
無電柱化推進計画事業 (東京女子医大通り)	江北四丁目 15 番～ 江北五丁目 18 番先	L=1580m W=15～ 27m	H29~R16	950	区		63%	83%
無電柱化推進計画事業 (江北アクセス道路)	江北四丁目 6 番～ 江北四丁目 30 番先	L=226m W=8～ 17.5m	R1~R14	259	区		35%	70%
無電柱化推進計画事業 (五反野駅前通り)	足立一丁目 18 番～ 弘道一丁目 30 番先	L=840m W=7.2～ 9.4m	H29~R20	2,000	区		27%	33%
無電柱化推進計画事業 (千住一丁目地区)	千住一丁目 30 番先	L=180m W=4.5～ 8m	H29~R7	350	区		90%	100% (R7 年度)

* 「数量」欄の「L」は延長、「W」は幅員を表す

* 「総事業費」はこれまでの実績額と今後の概算事業費の合計

- 足立区基本計画の施策：⑪-2 安全に利用できる道路環境の整備
- 担当部課：都市建設部 都市建設課・道路整備課

重点項目②

厚生労働省の地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用して、災害発生時に自力で避難することが困難な者が多く利用する高齢者施設において、非常用自家発電や給水設備等の整備を促進し、利用者の安全・安心を確保する。

重要業績指標	現状値	目標値
高齢者施設等の防災・減災対策実施数	4 箇所 (R6 年度)	6 箇所 (R8 年度)

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
高齢者施設等防災・減災対策推進事業	足立区全域 ※小規模施設等 (定員 29 人以下)	1 箇所	R7	8	区	該当	4 箇所	5 箇所 (R7 年度)
高齢者施設等の防災・減災対策推進事業 (※都事業)	足立区全域 ※大規模施設等 (定員 30 人以上)	—	R7	国から都道府県への直接補助であるため、区において予算計上なし	都	該当	—	— (R7 年度)

※ 定員 29 人以下の施設は区、30 人以上は都が実施主体となる

- 足立区基本計画の施策：⑧-1 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる、地域包括ケアシステムなどの体制の充実
- 担当部課：福祉部 介護保険課

《リスクシナリオ》

5-3 沿線・沿道の建物等の倒壊による交通麻痺、地域交通ネットワークの寸断

重点項目①

災害時に交通や輸送の寸断を防ぐため、橋梁の架け替えや橋梁の点検及び補修を進める。

重要業績指標	現状値	目標値
橋梁の架け替え件数	1件（R6年度）	15件（R33年度）

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国5か年 対策関係	現在の進捗 (R6年度)	5年後の状況 (R11年度)
道路事業、道路更新防災対策事業	富士見歩道橋	L=30m	R3~R10	1,040	区		5%	100% (R10年度)
	月見橋	車道橋 L=16m 歩道橋 L=21m	R3~R14	388	区		0%	0%
	五兵衛橋	L=56m	R1~R9	1,173	区		15%	100% (R8年度)
	伊藤谷橋	L=37m	R3~R11	513	区		0%	0%
	一本橋	L=9m	H30~R6	519	区		100%	
	堀切駅跨線人道橋	L=12m	R1~R11	649	区		2%	80%
	堀切2号橋	L=25m	R3~R10	649	区		5%	40%

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
道路事業、道路更新防災対策事業	みどり歩道橋	L=75m	R16~R23	554	区		0%	0%
	西新井駅竹ノ塚駅間跨線人道橋	L=22m	R4~R14	431	区		0%	8%
	栗六陸橋	L=165m	R5~R24	4,875	区		0%	4%
	千代田線車庫入口歩道橋	L=25m	R14~R21	417	区		0%	0%
	新砂子路橋	L=16m	R16~R26	399	区		0%	0%
	ふれあい橋	L=35m	R21~R28	207	区		0%	0%
	せせらぎ歩道橋	L=21m	R23~R28	337	区		0%	0%
	平成泉橋	L=24m	R24~R33	334	区		0%	0%

* 「数量」欄の「L」は延長を表す

* 「総事業費」はこれまでの実績額と今後の概算事業費の合計

- 足立区基本計画の施策：⑪-2 安全に利用できる道路環境の整備
- 担当部課：都市建設部 道路整備課

重点項目②

災害時の輸送の確保や交通の安全・円滑化のため、耐用年数を迎え老朽化した道路施設等の点検・改修・改良を計画的に実施する。

重要業績指標	現状値	目標値
道路維持補修計画に基づく舗装改修工事の路線数	9 路線 (R6 年度)	14 路線 (R11 年度)
バリアフリーに対応した整備を行う歩道の延長	4,822m (R6 年度)	7,330m (R8 年度)

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
道路事業（道路舗装改修工事）	区内主要幹線道路	14 路線	R2～R11	1,120	区	該当	64%	100% (R11 年度)
道路事業（梅島一丁目道路改良工事ほか）	区役所周辺バリアフリー重点整備地区、ほか	7,330m	R2～R8	733	区		65%	100% (R8 年度)
道路事業（道路施設の点検事業）	足立区全域	5 項目	各項目 5 年ごと	50	区		100%	100% (R11 年度)
都市再生整備計画事業（綾瀬・北綾瀬地区）	綾瀬駅・北綾瀬駅周辺	252ha	R4～R8	4,602	区		88%	100% (R8 年度)
都市再生整備計画事業（花畑川周辺地区）	花畑川周辺	152ha	R7～R10	107.1	区		0%	100% (R10 年度)

* 「総事業費」はこれまでの実績額と今後の概算事業費の合計

- 足立区基本計画の施策：⑪-2 安全に利用できる道路環境の整備
- 担当部課：都市建設部 都市建設課、道路整備課、道路維持課

重点項目③

発災時に緊急輸送道路となる都市計画道路は、建物倒壊による道路閉塞を防止するため、対象となる沿道建物の耐震化を促進していく。

重要業績指標	現状値	目標値
特定緊急輸送道路沿道の総合到達率(※1)及び区間到達率(※2)	・ 総合到達率 98.1% ・ 区間到達率 728 区間で 95%未満 (R6 年度 ※3)	総合到達率 100% (R17 年度)

※1 特定緊急輸送道路全体の通行機能を評価する指標であり、区間到達率を道路全体で加重平均し、算出したもので表される。

※2 特定緊急輸送道路における一定区間ごとの通行機能を評価する指標。

※3 現状値は、令和3年度版「足立区耐震改修促進計画」による数値。

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国5か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5年後の状況 (R11 年度)
住宅・建築物防災力緊急促進事業、緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業(特定緊急輸送道路沿道建築物耐震助成、一般緊急輸送道路沿道建築物耐震助成)	区内指定路線沿道	—	H23～未定	未定	区		—	—

*単年度事業のため「事業期間」の終期および「総事業費」は未定

- 足立区基本計画の施策：⑩-1 災害に強い都市整備の推進
- 担当部課：都市建設部 建築防災課

重点項目④

電柱の倒壊による、緊急輸送道路や区の主要道路等の閉塞を防ぎ、都市防災機能の強化を進めるため、無電柱化整備を推進する。

重要業績指標	現状値	目標値
足立区道の緊急輸送道路における整備着手及び完了延長	2.04 km (R6 年度)	4.44 km (R17 年度)

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
道路事業、無電柱化推進計 画事業、住環境整備事業	補助第 138 号線その 2 工区整備事業	L=280m W=16m	H10~R7	3,194	区		96%	100% (R7 年度)
	補助第 256 号線整備事 業	L=840m W=15m	H24~R15	8,580	区		38%	70%
	足立区画街路第 14 号 線（東武伊勢崎線竹ノ 塚駅付近）	6,051 m ²	H23~R6	4,138	区		100%	
	補助第 138 号線（江北 地区）整備事業	L=390m W=16m	R1~R12	5,967	区		5%	88%
	補助第 138 号線（興野 地区）整備事業	L=940m W=16m	R1~R23	10,229	区		0%	11%
	区画街路第 9 号線整備 事業	5,460 m ²	R2~R12	8,407	区		2%	97%
	補助第 255 号線整備事 業	L=680m W=16m	H11~R23	12,235	区		0%	22%
	区画街路第 15 号線整 備事業	2,100 m ²	R1~R7	1,611	区		90%	100% (R7 年度)
	区画街路第 7 号線整備 事業	L=390m W=17~18m	S60~R20	4,487	区		0%	8%

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
道路事業、無電柱化推進計画事業、住環境整備事業	補助第 253 号線整備事業	L=260m W=15m	H20~R16	5,270	区		0%	30%
	補助第 137 号線整備事業	L=100m W=15m	R5~R11	1,015	区		0%	0%
無電柱化推進計画事業 (東京女子医大通り)	江北四丁目 15 番～ 江北五丁目 18 番先	L=1580m W=15～ 27m	H29~R16	950	区		63%	83%
無電柱化推進計画事業 (江北アクセス道路)	江北四丁目 6 番～ 江北四丁目 30 番先	L=226m W=8～ 17.5m	R1~R14	259	区		35%	70%
無電柱化推進計画事業 (五反野駅前通り)	足立一丁目 18 番～ 弘道一丁目 30 番先	L=840m W=7.2～ 9.4m	H29~R20	2,000	区		27%	33%
無電柱化推進計画事業 (千住一丁目地区)	千住一丁目 30 番先	L=180m W=4.5～ 8m	H29~R7	350	区		90%	100% (R7 年度)

* 「数量」欄の「L」は延長、「W」は幅員を表す

* 「総事業費」はこれまでの実績額と今後の概算事業費の合計

- 足立区基本計画の施策：⑪-2 安全に利用できる道路環境の整備
- 担当部課：都市建設部 都市建設課・道路整備課

《リスクシナリオ》

6-4 住宅再建や道路再整備等の遅延により復旧・復興が大幅に遅れる事態

重点項目①

災害発生後の住宅や道路等の早期復旧を行うため、平時の地籍調査を推進し、土地の境界を明確にしておく。

重要業績指標	現状値	目標値
地籍調査における一筆地調査面積	1.78 km ² (R6 年度)	1.76 km ² (R11 年度)

【主な個別事業】

事業名	箇所	数量	事業期間 (年度)	総事業費 (百万円)	実施 主体	国 5 か年 対策関係	現在の進捗 (R6 年度)	5 年後の状況 (R11 年度)
市街地整備事業〈都市防災 推進事業〉(地籍整備事業)	神明一丁目、神明二丁 目東地区、神明二丁目 西地区、神明三丁目西 地区、六木四丁目南地 区、六木四丁目北地区	0.34 km ²	R2~R11	未定	区		3.6%	3.9%

*単年度事業のため「総事業費」は未定

- 足立区基本計画の施策：①-2 安全に利用できる道路環境の整備
- 担当部課：都市建設部 道路管理課